

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾文化学科

4年次（2023年度生）

卒業研究（制作）

井口 多恵子

服飾文化学科 4年 前期 選択必修（2単位 実験実習）

授業の方針・概要

卒業研究では 歴史 レプリカ制作・修復 衣のものづくり サスティナビリティ の総合的な学びのもとで研究テーマを設定し、服のオリジナルデザインを考え作品を制作する。作品制作と並行して制作工程や縫製方法などの記録をまとめる。卒業研究作品についての発表はプレゼンテーションの形式で行う。

到達目標（学修成果）

- ①これまでの学びを活かし、設定したテーマに即した作品を制作することができる
自ら研究計画を立て、実行することができる
自分の作品についてプレゼンテーションすることができる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の卒業要件科目で選択必修（実験実習）科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じた課題やレポートは提出後に点検、添削やコメントを付して、対面またはポータルサイトから返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を適宜配付します

参考文献

PATTERN MAKING 杉野学園 SEWING 杉野学園 基礎テキスト 杉野学園

オフィスアワー・研究室

初回の授業時にお知らせします

備考

状況により日程や内容を変更する場合があります。
準備学修の必要時間はあくまで目安です。各自課題の進捗状況に合わせて必要な時間を確保してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	ガイダンス シラバスの確認	予習：シラバスを読む 卒業研究に関する資料を準備する	60分
2回 井口	研究テーマの資料収集、調査についての確認	予習：卒業研究のテーマに関する検討 復習：授業内容をまとめる	60分
3回 井口	研究テーマ、研究計画を立てる	予習：研究テーマ、研究計画の立案 復習：研究テーマの確認、計画内容の振り返り	60分
4回 井口	デザイン検討（個別ディスカッション）	復習：授業内容を振り返り、まとめる	60分
5回 井口	パターン作成	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
6回 井口	パターン作成と修正	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
7回 井口	トワル作成	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
8回 井口	トワル着装、補正（個別ディスカッション）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
9回 井口	パターン修正、素材選定、検討（個別ディスカッション）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
10回 井口	型紙作成 進捗状況の確認と今後のスケジュール調整	予習：スケジュールの事前確認 復習：授業内容を振り返り、まとめる。	60分
11回 井口	実物作品（裁断、印付け）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
12回 井口	実物作品（裁断、印付け）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
13回 井口	実物作品（組み立て）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
14回 井口	実物作品（着装、補正）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
15回 井口	実物作品、進捗状況の確認と今後のスケジュール調整	予習：スケジュール確認できるように作品の進捗状況を整理する	60分

卒業研究 (制作)

菅野 ももこ、宮澤 光与

服飾文化学科 4年 前期 選択必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

本卒業研究では、歴史衣裳または民族衣裳の実寸の実物資料、または専門書に掲載されたパターンをもとに再現制作を行う。初年次から学んできた民族衣裳・歴史衣裳に関する知識を踏まえ、制作工程や縫製方法などの細部を観察・記録し、再現資料への理解を深める。再現過程で得た知見を整理し、成果として発表する。

到達目標 (学修成果)

これまでに学んだ民族衣裳、歴史衣裳に対する知見を基にした服飾資料の再現制作を行うことができる。
制作の過程で得られた、または自ら気がついた事柄を記録し、再現した資料に対する理解を深めることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。選択必修の実験実習です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて配布します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお伝えします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	ガイダンス シラバスの確認	予習: シラバスの確認	30分
2回 菅野	研究計画 再現制作の対象となる資料の選定と制作スケジュールの確認	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	型紙の作成と修正	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	型紙の作成と修正	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	裁断と縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	進捗状況の確認と今後のスケジュールの調整	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	縫製	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
15回 菅野	進捗状況の確認と今後のスケジュールの調整	復習: 授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分

卒業研究（論文）

梅谷 知世

服飾文化学科 4年 前期 選択必修（2単位 演習）

授業の方針・概要

受講生自身が見出した、日本を中心とする服飾文化・染織文化に関わる課題について研究を行う。先行研究をふまえ、自身の問題意識を明確化したうえで研究テーマおよび研究方法を設定し、資料の収集・調査を行い、その結果を分析して論理的に考察し、卒業論文としてまとめる。

到達目標（学修成果）

服飾文化学科における学修の集大成として、自身の設定したテーマと研究計画に基づき、卒業論文を完成させる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目で、卒業認定科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出された課題については、教員から詳細にコメントします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

使用しません。

参考文献

授業中に適宜紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

受講生の研究の進捗状況によって授業計画が変更になる場合もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	ガイダンスー論文作成の方法とスケジュールの確認	これまでに受講した、卒業論文テーマ案に関連する授業内容を復習しておく。	100分
2回 梅谷	卒業論文のテーマの絞り込み(1)	卒業論文テーマ案に関連する先行研究・参考文献の収集・精読を進める。	100分
3回 梅谷	卒業論文のテーマの絞り込み(2)	卒業論文テーマ案に関連する先行研究・参考文献の収集・精読を進める。	100分
4回 梅谷	卒業論文のテーマの絞り込み(3)	卒業論文テーマ案に関連する先行研究・参考文献の収集・精読を進める。	100分
5回 梅谷	卒業論文のテーマの絞り込み(4)	卒業論文テーマ案に関連する先行研究・参考文献の収集・精読を進める。	100分
6回 梅谷	研究計画作成(1)	卒業論文テーマに関連する先行研究の研究方法を調べる。	100分
7回 梅谷	研究計画作成(2)	卒業論文テーマに関連する先行研究の研究方法を調べる。	100分
8回 梅谷	資料収集・調査の実施指導(1)	卒業論文テーマに応じ、資料収集・調査を計画的に行う。	100分
9回 梅谷	資料収集・調査の実施指導(2)	卒業論文テーマに応じ、資料収集・調査を計画的に行う。	100分
10回 梅谷	資料収集・調査の実施指導(3)	卒業論文テーマに応じ、資料収集・調査を計画的に行う。	100分
11回 梅谷	資料・調査結果の分析と考察(1)	卒業論文テーマに応じ、資料収集・調査を計画的に行う。	100分
12回 梅谷	資料・調査結果の分析と考察(2)	卒業論文テーマに応じ、資料収集・調査を計画的に行う。	100分
13回 梅谷	資料・調査結果の分析と考察(3)	卒業論文テーマに応じ、資料収集・調査を計画的に行う。	100分
14回 梅谷	中間報告用資料の作成	これまでの資料収集・調査を通して得られた内容をまとめる。	100分
15回 梅谷	中間報告	これまでの資料収集・調査を通して得られた内容をまとめる。	100分

卒業研究（論文）

鈴木 桜子

服飾文化学科 4年 前期 選択必修（2単位 演習）

授業の方針・概要

既に各人の希望と興味と適正に応じて、自らの卒業研究テーマが見えている段階にあるでしょう。服飾文化学科で学んできた、その総仕上げである卒業研究に取り組むうえで必要なことは、自ら設定した研究テーマに誠実に向き合うこと、学問の世界に対して謙虚な姿勢であること、そして実際の研究活動にあたって頭と体を使って積極的に動くことです。粘り強く卒業研究に挑んでください。担当教員はそのサポート役として伴走します。

到達目標（学修成果）

卒業研究（前期）は、研究計画の立案から序文執筆に至るまでの一連の過程を通して、専門的知識の統合と研究遂行能力の修得を目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の卒業要件にあたる選択必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業はゼミ形式（演習）で行われ、諸々の課題について、毎回、ゼミ生と指導教員の間でのディスカッションでフィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて提示

オフィスアワー・研究室

初回の授業で確認

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	出発点の確認。なぜ、そのテーマを選んだのか。	テーマ選定に至る確認	120分
2回 鈴木	先行研究の確認	左記授業内容の継続	120分
3回 鈴木	資料収集と整理（以降も継続）	左記授業内容の継続	120分
4回 鈴木	研究計画の立案	左記授業内容の継続	120分
5回 鈴木	論文全体の構成と内容の検討	左記授業内容の継続	120分
6回 鈴木	目次の作成	左記授業内容の継続	120分
7回 鈴木	目次の再検討	左記授業内容の継続	120分
8回 鈴木	目次の再検討	左記授業内容の継続	120分
9回 鈴木	目次の再検討	左記授業内容の継続	120分
10回 鈴木	研究計画の再検討	左記授業内容の継続	120分
11回 鈴木	研究倫理の理解	左記授業内容の継続	120分
12回 鈴木	序文執筆	左記授業内容の継続	120分
13回 鈴木	序文執筆	左記授業内容の継続	120分
14回 鈴木	序文執筆③	左記授業内容の継続	120分
15回 鈴木	前期の振り返り、夏休みに向けて	夏休み期間中の調査・研究	120分

卒業研究（制作）

井口 多恵子

服飾文化学科 4年 後期 選択必修（2単位 実験実習）

授業の方針・概要

卒業研究では 歴史 レプリカ制作・修復 衣のものづくり サスティナビリティ の総合的な学びのもとで研究テーマを設定し、服のオリジナルデザインを考え作品を制作する。作品制作と並行して制作工程や縫製方法などの記録をまとめる。卒業研究作品についての発表はプレゼンテーションの形式で行う。

到達目標（学修成果）

- ①これまでの学びを活かし、設定したテーマに即した作品を制作することができる
自ら研究計画を立て、実行することができる
自分の作品についてプレゼンテーションすることができる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は服飾文化学科の卒業要件科目で選択必修（実験実習）科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業内容に応じた課題やレポートは提出後に点検、添削やコメントを付して、対面またはポータルサイトから返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて資料を適宜配付します

参考文献

PATTERN MAKING 杉野学園 SEWING 杉野学園 基礎テキスト 杉野学園

オフィスアワー・研究室

初回の授業時にお知らせします

備考

状況により日程や内容を変更する場合があります。
準備学修の必要時間はあくまで目安です。各自課題の進捗状況に合わせて必要な時間を確保してください。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 井口	研究計画の確認とスケジュールの調整、サンプル縫製（個別ディスカッション）	予習：実物作品のサンプル縫製準備	60分
2回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
3回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
4回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
5回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
6回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
7回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
8回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
9回 井口	実物作品（縫製）	復習：授業内容を振り返り、まとめる。遅滞箇所を行う	60分
10回 井口	実物作品完成、提出 今後のスケジュール確認と調整（個別ディスカッション）	予習：スケジュールの事前確認 復習：授業内容を振り返り、まとめる。	60分
11回 井口	レポート作成（作品制作に関する資料まとめ）	復習：レポートをまとめる。遅滞箇所を行う	60分
12回 井口	レポート作成（作品制作に関する資料まとめ）	復習：レポートをまとめる。遅滞箇所を行う	60分
13回 井口	レポート作成、提出（作品制作に関する資料まとめ）	復習：レポートをまとめる。遅滞箇所を行う	60分
14回 井口	プレゼンテーションの準備、確認、リハーサル	プレゼンテーションの事前準備、確認し確定する	60分
15回 井口	プレゼンテーションと講評、まとめ	卒業研究を振りかえる	60分

卒業研究 (制作)

菅野 ももこ、宮澤 光与

服飾文化学科 4年 後期 選択必修 (2単位 実験実習)

授業の方針・概要

本卒業研究では、歴史衣裳または民族衣裳の実寸の実物資料、または専門書に掲載されたパターンをもとに再現制作を行う。初年次から学んできた民族衣裳・歴史衣裳に関する知識を踏まえ、制作工程や縫製方法などの細部を観察・記録し、再現資料への理解を深める。再現過程で得た知見を整理し、成果として発表する。

到達目標 (学修成果)

これまでに学んだ民族衣裳、歴史衣裳に対する知見を基にした服飾資料の再現制作を行うことができる。
制作の過程で得られた、または自ら気がついた事柄を記録し、再現した資料に対する理解を深めることができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

本科目は卒業要件科目です。選択必修の実験実習です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

授業内容に応じて用意する課題レポートについては、添削やコメントを付して対面で返却します。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて授業内で紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

状況により、日程や内容を変更する場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 菅野	前期のスケジュールの調整の確認	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
2回 菅野	縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
3回 菅野	縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
4回 菅野	縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
5回 菅野	縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
6回 菅野	縫製	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
7回 菅野	縫製 制作完了	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
8回 菅野	作業工程の記録整理	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
9回 菅野	レポートの作成 (1)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
10回 菅野	レポートの作成 (2)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
11回 菅野	レポートの作成 (3)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
12回 菅野	プレゼンテーション準備 (1)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
13回 菅野	プレゼンテーション準備 (2)	復習：授業を振り返り、授業内で取り組んだ課題について考える	30分
14回 菅野	プレゼンテーションのリハーサル	予習 プレゼンテーション準備	30分
15回 菅野	プレゼンテーションと講評	予習 プレゼンテーション準備	30分

卒業研究（論文）

梅谷 知世

服飾文化学科 4年 後期 選択必修（2単位 演習）

授業の方針・概要

受講生自身が見出した、日本を中心とする服飾文化・染織文化に関わる課題について研究を行う。先行研究をふまえ、自身の問題意識を明確化したうえで研究テーマおよび研究方法を設定し、資料の収集・調査を行い、その結果を分析して論理的に考察し、卒業論文としてまとめる。

到達目標（学修成果）

服飾文化学科における学修の集大成として、自身の設定したテーマと研究計画に基づき、卒業論文を完成させる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の選択必修科目で、卒業認定科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

提出された課題については、教員から詳細にコメントします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

使用しません。

参考文献

授業中に適宜紹介します。

オフィスアワー・研究室

初回授業でお知らせします。

備考

受講者の研究の進捗状況によって授業計画が変更になる場合もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 梅谷	論文構成の検討	卒業研究 で得られた結果に基づき、論文構成を考える。	100分
2回 梅谷	論文の執筆・修正(1)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
3回 梅谷	論文の執筆・修正(2)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
4回 梅谷	論文の執筆・修正(3)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
5回 梅谷	論文の執筆・修正(4)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
6回 梅谷	論文の執筆・修正(5)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
7回 梅谷	論文の執筆・修正(6)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
8回 梅谷	論文の執筆・修正(7)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
9回 梅谷	論文の執筆・修正(8)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
10回 梅谷	論文の執筆・修正(9)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
11回 梅谷	論文の執筆・修正(10)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
12回 梅谷	論文の執筆・修正(11)	論文の執筆、ならびに、授業時の指導に基づく修正を行う。	100分
13回 梅谷	卒業論文発表会要旨の作成(1)	自身の研究の要点を整理しまとめる。	100分
14回 梅谷	卒業論文発表会要旨の作成(2)	前回授業時の指導に基づき、論文要旨の修正を行う。	100分
15回 梅谷	卒業論文発表会の準備	発表原稿、パワーポイント資料を作成する。	100分

卒業研究（論文）

鈴木 桜子

服飾文化学科 4年 後期 選択必修（2単位 演習）

授業の方針・概要

後期に入り、既に自らの卒業研究に対する姿勢が確立している段階にあると期待します。これまで進めてきた研究プロセスを併行しながら、実際の論文執筆に取り組みます。

受講生は毎週論文草稿を提出していきます。担当教員は毎週提出される草稿原稿を添削していきます。知力と体力と行動力が求められます。卒業研究を通し、ファッション文化、装いの文化への視座を深化させていくことで、これからの時代へ向けた「大切な問い」「新たな気づき」を導き出してください。

到達目標（学修成果）

前期の取り組みの上で、論文執筆を通して専門的知識の統合と研究遂行能力、課題解決能力の修得を目標とします。その成果を卒業研究発表会で発表します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

服飾文化学科の卒業要件にあたる選択必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業はゼミ形式（演習）で行われ、諸々の課題について、毎回、ゼミ生と指導教員の間でのディスカッションでフィードバックしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

なし

参考文献

必要に応じて提示

オフィスアワー・研究室

初回の授業で確認

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 鈴木	夏休み中の調査・研究のチェック、目次・研究計画の再検討	目次・研究計画の再検討	120分
2回 鈴木	論文執筆（草稿）	左記授業内容の継続	120分
3回 鈴木	論文執筆（草稿）	左記授業内容の継続	120分
4回 鈴木	論文執筆（草稿）	左記授業内容の継続	120分
5回 鈴木	論文執筆（草稿）	左記授業内容の継続	120分
6回 鈴木	論文執筆（草稿）	左記授業内容の継続	120分
7回 鈴木	論文執筆（草稿）	左記授業内容の継続	120分
8回 鈴木	論文執筆（草稿）（清書）	左記授業内容の継続	120分
9回 鈴木	論文執筆（草稿）（清書）	左記授業内容の継続	120分
10回 鈴木	論文執筆（草稿）（清書）	左記授業内容の継続	120分
11回 鈴木	論文執筆（草稿）（清書）、序文の書き直し	左記授業内容の継続	120分
12回 鈴木	卒業研究提出に向けての最終確認	左記授業内容の継続	120分
13回 鈴木	プレゼン用レジュメ作成	レジュメ作成・加筆修正	120分
14回 鈴木	プレゼンテーションの準備	プレゼン準備	120分
15回 鈴木	卒業研究発表（プレゼン）	プレゼン準備	120分

博物館実習

落合 広倫

服飾文化学科 4年 通年(前期) 選択 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務に必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

到達目標(学修成果)

博物館実務に関する知識・技術の習得

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

製作物・技術習得についての講評

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定なし。内容に即した資料を配布します。

参考文献

随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課(本校舎1階) 出講日：土曜日

備考

授業計画は進行状況によって前後することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 落合	オリエンテーション(博物館実習の概要説明・授業計画)	予習：シラバス確認	30分
2回 落合	グループワーク(博物館の展覧会を企画する)	予習：プレゼンテーション準備	30分
3回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
4回 落合	拓本用墨作成	予習：調査 準備	30分
5回 落合	グループワーク(ミュージアムグッズを考える)	予習：プレゼンテーション準備	30分
6回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
7回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
8回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
9回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
10回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
11回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
12回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
13回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
14回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
15回 落合	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾文化学科 4年 通年(前期) 選択 (3単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
17回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
18回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
19回 落合	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	30分
20回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
21回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
22回 落合	2次資料作成(額装仕立て)	復習：実習内容 振り返り	30分
23回 落合	グループワーク(博物館ワークショップを考える)	予習：調査 準備	30分
24回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
25回 落合	資料取扱(紙資料)	復習：実習内容 振り返り	30分
26回 落合	資料取扱(金工品)	復習：実習内容 振り返り	30分
27回 落合	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	30分
28回 落合	資料の保存方法(脱酸素処理)	復習：実習内容 振り返り	30分
29回 落合	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	30分
30回 落合	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り(まとめ)	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾文化学科 4年 通年(後期) 選択 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務に必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

到達目標(学修成果)

博物館実務に関する知識・技術の習得

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

製作物・技術習得についての講評

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定なし。内容に即した資料を配布します。

参考文献

随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課(本校舎1階) 出講日：土曜日

備考

授業計画は進行状況によって前後することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 落合	オリエンテーション(博物館実習の概要説明・授業計画)	予習：シラバス確認	30分
2回 落合	グループワーク(博物館の展覧会を企画する)	予習：プレゼンテーション準備	30分
3回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
4回 落合	拓本用墨作成	予習：調査 準備	30分
5回 落合	グループワーク(ミュージアムグッズを考える)	予習：プレゼンテーション準備	30分
6回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
7回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
8回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
9回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
10回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
11回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
12回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
13回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
14回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
15回 落合	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾文化学科 4年 通年(後期) 選択 (3単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
17回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
18回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
19回 落合	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	30分
20回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
21回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
22回 落合	2次資料作成(額装仕立て)	復習：実習内容 振り返り	30分
23回 落合	グループワーク(博物館ワークショップを考える)	予習：調査 準備	30分
24回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
25回 落合	資料取扱(紙資料)	復習：実習内容 振り返り	30分
26回 落合	資料取扱(金工品)	復習：実習内容 振り返り	30分
27回 落合	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	30分
28回 落合	資料の保存方法(脱酸素処理)	復習：実習内容 振り返り	30分
29回 落合	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	30分
30回 落合	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り(まとめ)	30分